

人生(命)

セイレム オレゴン州 アメリカ合衆国

1962年07月19日B

1 ...私にはパンチはありません。私はいくつかのハグをもらいました。ご存知の様に、私は以前はボクシングをしていました...ちよつと...それから職業を作るつもりです。だから私はずっと前にそのパンチをやめました—悪魔向け以外は。

私は今朝ここで考えていました、これらを食べています...テーブルの周りを見て、これらの異なるもの、彼らがどのように...彼らは食べています。それらのいくつかは卵を持っていました、そしていくつかはパンケーキとソーセージなどを持っていました。それでも、私たちは皆人間です。不思議ですね、私たちはみんな人間で、いろいろな食事をしているのではないのでしょうか？

それが私たちの宗教的思考のやり方だと思います。私たちは...ここにいる人の中にはフォースクエアに属していると言っている人もいれば、アセンブリに属している人もいます。でも結局のところ、私たちは皆クリスチャンです。それはただ...そういうことです。そしてそれはコートニー兄弟でした、私はフォースクエア、コートニー兄弟から考えようとしていました。彼はまだ彼らと一緒にいますか？ コートニー。彼は確かに立派な人です。

2 パンケーキを食べながら、それについて少し話があります。今はうまくいかないかもしれませんが、それはさておき、私は知っていますが、私たちは理解しています。私は釣りが大好きで、パンケーキも大好きです。そして、私はニューハンプシャーで...ずっと上がっていて、私はマス釣りをしていた。それは小さな小川のマスの家のようなものです。そして、私はバックパックを背負って約2日のために詰めていました、山の中でずっと高いところにいました。そして、私はそれらを捕まえるでしょうね。2匹か3匹食べたら、残りを逃がします。ただそれらを捕まえるのが大好きでした。

ですから、私の後ろにはいつもヤナギがいて、ムースヤナギが私のハエを捕まえていました。私は小さな子テントを持っていて、「さて、次の朝、早起きしてそこに行き、柳を切り落とすつもりです」と思いました。だから...ああ、その下でマスが遊んでいただけでした。水が洗い流された場所で、土手の下に戻ってきました。いくつかの素敵なものです。そして、私は彼を捕まえ、彼と遊んで、そして本当に素早く彼をぐいと動かし、あなたが知っているように、彼を殺さないようにして、それから彼を再び逃がします。だから、ああ、私はリアルタイムで過ごしていました。

3 それで、私はその朝早くそこに行きました。「朝食用のブラウニーのうち2つがパンケーキとちょうどいいだろう」と思いました。ですから、私はそれを混ぜることができないので、私はすでに混乱しています。熱くなりすぎないで水を沸かすことはできません。それで、私はちょうどそこに着きました...それで、私はそこに立ち上がり、フライラインを手に入れ、日光について離陸し、それらの茂みを切り、そして私に数匹の魚を捕まえ、そしていくつかを緩めました。そして、カップルを傷つけ、私は彼らを連れ戻しました。

私の帰り道で...あなたがた狩りをしている兄弟たち、あなたは小さな古い黒熊がその地区でうろついていることが何であるかを知っています。それで、そこに2匹の子を持つ古い小さな古い雌豚のクマが私のテントに入っていました。彼らが持っていた善に正直に...彼らはそれをバラバラに引き裂いただけでした、そして彼らはそこにいました。何かが掻き集めているのが聞こえました。私は見渡して、ここにこの2人の子と一緒に座っているこの年老いた母親が座っていました—私が持っていたすべてを引き裂いただけでした。

4 私は戻らなければならないことを知っていました。彼らが食べるものはそれほど多くありません。それは彼らが破壊するものです。それで、私は手に小さな斧を持っていて、そこに古いさびたピストルを置いていましたが、それはテントの中にもありました。そして、彼女は...そして彼らは...母親のクマはなんでも充電するでしょう。あなたが彼らが小熊をどこで手に入れたのか彼らを悩ませているなら、あなたは知っているでしょう。そして、私はある意味距離を保っていました、そして私はすぐにそれに入ることができる木を見ました。私は彼女を傷つけないし、森の中に2人の孤児を残したくありません、とにかく、あなたが知っているの...で...

私はこの小さな古い斧を手を持っていました。それで私は「そこから出なさい」と言いました、そして彼女は向きを変えました。ええと、彼女は...私に来る代わりに、逃げ出しました、そして彼女はこれらの小熊をなだめました、あなたは知っています。そして、小熊の一人が彼女のために連れ出しました。もう一人の小さな仲間は、このように座って、私に背を向けていました。さて、「なんで行かなかったんだ、ちっちゃなやつ」と思いました。そして、彼女はその子を連れてくるために、ぐるぐる回っていました。彼はそれをしませんでした。

5 さて、横に動きました。「母親のところに行かないほど興味を持っている小さな人は何ですか?」と言いました。そして、彼女はそのような小さな部分を逃げます。私は自分の木を見ました。それで、彼女は彼を連れてくるために小熊の方に向かっていました、そして彼女は私に近づくことを恐れていました。それから彼女は小熊に行くのを恐れていました。そして、彼女は2、3回クーリングした後、他の子に戻りました。そして、この小さな子はただそこに座って何かをしていました、そして私は彼が世界で何をしているのか疑問に思いました。それで私は横に歩き回りながら自分の木を見続けました。

6 あなたはその小さな小熊が何をしたか知っていますか? 私はパンケーキのためにそこに糖蜜のバケツを持っていました。なぜなら私は好きだから...私は...以前はバプテストでした、そして私はそれらを振りかけるのは好きではありません。私は本当に彼らにバプテストを施すのが好きです—それを注いでください。私はこの大きな糖蜜の素敵なバケツを持っていました、そしてその小さな仲間はこの糖蜜のバケツに入っていました。そして、あなたは彼らがどのようにお菓子が好きか知っていますか? そして、彼はそれのふたを外して、それを彼の腕に抱きしめました。「もちろん、彼はそれを食べる方法を知りませんでした、そして彼はそれに彼の小さな足を吸い込み、そのようにそれをなめました、あなたは知っています...そのように、彼らに糖蜜をなめました。ああ、それがパンケーキと糖蜜の最後でした! 私はそれを見ました。

7 それで私は「そこから出なさい」と言いました、そして彼は私に耳を貸さなかったでしょう、あなたは知っています。そしてしばらくして、彼は振り向いて見ました、そして彼は目を開けることができませんでした—糖蜜がそのように彼の目を前後に引っ張っています—私が今まで見た中で最もかわいいもの! カメラがなければ、あなたは知っています! そして彼は頭のとっぺんから足の裏まで糖蜜でした。

そして、私はそこに立って、私の側が傷つくまで笑いました。私は「それはちょうど良いペンテコステ派の集まりのようです」と言いました。そうです。手をひじまで垂れ下がった蜂蜜のバケツに入れて、舐め始めます。そして非難も恐れもありません。

8 奇妙なことに、私が彼をそこから遠ざけた後、彼は私のすべての糖蜜に行きました—彼は去る前にそれらを終えました。そして、彼は彼のママと弟がいたところに走り出して、彼らは彼をなめ始めました。それが私たちがこの会議がうまくいくことを望んでいる方法です—彼らの残りは蜂蜜の一部をなめようとします。

それは自己紹介する失礼な方法ですね。しかし、それが私がそれをする唯一の方法です。あなたは私が何を意味するか知っています、そしてあなたはそれをそのように理解していると確信しています。

今朝あなた方の兄弟たちとここにいること、そしてあなたが困難な状況下で私を後援していることを知ることはとても大きな特権です。もちろん、彼が説教壇で私に明らかにしたことを知っているなら、あなたは私が何を意味するかを知っています。困難の下であなたはそれをします。

9 集会の中で何度も理由はわかりませんが、私がやろうとしていることについて間違った意見を持っている人がいることがあります。

私は、キリストのクリスチャンであるすべての人を兄弟にするために、障壁を打ち破ろうとしています。そして時々そのように、私は組織についてまとめます。私が組織に反対してはいません。まったく違います。私の...私は誰にも参加しませんでした。なぜなら、違反にとどまった場合、特定のグループの人々に少しでも影響を与えるよりも、より多くの影響を与えることができると感じたからです。そして、私はペンテコステ派の動きに非常に熱心です。

私は宣教師バプテストのミニスターでした。私がこれを見たとき、これはそれでした。それ以来、私は人々にとても熱心に取り組んできました。私は彼らを愛しています。

10 そして...歴史家になるには長い道のりですが、少し歴史を読んで、通常は組織であることがわかります...次の人を認識できなくなるまで組織化されると、神はそれを柵に置くだけで、もう使わないのです。

さて、私は私たちのグループがそのようになることを望んでいません。組織化は素晴らしいことだと思います。それは良いきれいな兄弟愛を保ちます、そして、あなたが知っているように、それはその目的を果たします。しかし、私は常に、一方がもう一方の腕の周りに腕を置くことができるようになるまで、そしてあなたが私が意味することを知っている、交わりを持つことができるまで、彼らをその場所に連れて行きたいと思っています。

ボスワース兄弟が私に一度言ったように、敬虔で聖なる老人、あなた方の多くはF. F.ボスワースを知っ

ていました。彼は私に言いました、「ブラナム兄弟、あなたは交わりについて話し続けます。あなたはそれが何であるか知っていますか？」

私は「そう思う」と言いました。

彼は「1つの船に2人の人がいる」と言いました。それはとても良い表現だと思いました。1つの船に2人の人がいます。それから私たち全員のための余地があります。

11 私がここで私たちの兄弟、何人かの兄弟が小さなボートで急な川を下っていくのを見て、ボートが波打つことはないことを知っていて、見て、そして私が彼に叫び始めたら、それは私が何かを得たのではありません兄弟に対して; 私にそれをさせているのは愛です。それは彼が乗っているボートです、それは彼を詰め込まないでしょう、見てください。

さて、組織が...組織が組織化し、ピリオドの代わりにコンマで教義を終了するかどうかを考えます。「これがこれであり、これがそれであり、それがすべてです」。彼らが単にコンマを作るなら、「私たちはこれ信じ、さらに主が私たちに加えることができる限りのことを信じます。」それがルターが間違いを犯した場所です。信仰による正当化、それだけでした。ウェズリーは間違いを犯しました: 聖化、第二の恵みの働き、そして聖霊が入ってきたときにそれを受け取ることを拒否しました。それをコンマで終わらせれば大丈夫です。

12 ご覧のとおり、神はとても偉大で、テントが私たち全員の上に伸びていました。そして、私たちは...さまざまな食べ物を食べ、さまざまな服装をし、さまざまに見え、私たちはさまざまです。しかし、神は多様性の神です。彼は神ではありません...彼はシアーズアンドローバックハーモニーハウスではありません。神は多様性の神です。ここを見てください: 大きな山、小さな山、緑の木々、砂漠。白い花、青い花、ピンクの花、赤い花; 赤毛の人、黒髪の人、白髪の人、そして誰もいません。

ほら、彼は多様性の神です。私は彼がそのようにそれを好きだと信じています。それが彼が私たちを作った方法です。私たちの組織化的生活の中で、神はそのようにされていると思います。

13 私は南部人です。この大ボスは(この国で)彼らの言うことは大丈夫だと言っています。南部の隔離状態の中で、ある時私に「南部人であるブラナム兄弟、隔離についてどう思いますか?」と言った人がいたと思います。

私は言いました「私が言うことではありません 上司である政府は、それをそのままにしたり、結婚を許可したりするなどと言った。」私は言いました「それは彼ら次第です。アメリカ人として、私は法律を守ります。」私にとって、あなたはそれを神が持っていた方法のままにしておくべきです。彼は白人男性、黒人男性、茶色人男性を作りました。彼は多様性の神です。神が彼らを造られた方法で彼らをとどまらせてください。それが私の考えです。

もし私が黒人だったら、私のクラスの人々ととどまりたいです。もし私が中国人で黄色人種だったら、そのままにしておきたいです。私はアングロサクソン人なので、白人です。白人と結婚し、子供たちにも同じことを教え、神が最初に私たちに造られた花のような色と色を保ちましょう。結局のところ、彼がそれを成し遂げたのです。

14 私がアッセンブリーオブゴッドに属しているなら、私はアッセンブリーオブゴッドになります。私がフォースクエアに属している場合、私はフォースクエアになりますね。しかし、私はいつも一人一人のために私の腕に手を伸ばしたいです、見て、それらをすべて集めて、見てください。それだけです—お互いの交わり。そのように私は誤解されてきました。

時々...私は少し前にここで蛇の種についてのテープを取り出しました、それは大きな対立を引き起こしました。申し訳ありませんが、それらの男の子はそれを出しました。それは私の中にありました...彼らはもう私と一緒にありませんが...申し訳ありませんが、彼らはそれを出させました。そして結局のところ、もしそれが教会の間で出て行ったら...私は牧師たちが羊飼いであることを理解しています。彼らは彼らの群れを見ています。そして、彼らがそれをしなければ、彼らは良い羊飼いではありません。そうです。ほら、彼らは彼らの群れを見るようになったので...聖霊が彼らを監督させたのです。

15 話されていることはたくさんありますが、さまざまなものがあります。誰もが物事について彼の考えを持っています。私たちにはそれに対する権利があります、ほら、私たちの考えに対して。しかし、それは...私は確かに許さないでしょう...それは私が聖書の中で私が考えたことについての私自身の考えとして出てきま

した...罪を引き起こしたのはエバが食べるリンゴではなかったということです。...しかし、それから、それは何人かの兄弟の間で酸っぱい噛みつきを引き起こしたように見えました。私はそれが出ていなかったらよかったのです、なぜなら、私は兄弟たちを邪魔するためにここに出ていないからです。私は兄弟たちを助けるためにここにいます。

私は1つの目的のために働いています、そして私たちは皆それをしようとしていると思います。そして、アセンブリ、フォースクエア、ワンネス、そしてそれらが何であれ、ほら、彼らはすべて兄弟です。そして、私たちは一つの成果を上げようとするべきです。それが神の国です、ほら。そして、私がネットで集めてそこに送ることができる限り多くの魂を、あなたとあなたの、そして残りのすべての人と一緒に置きたいのです。私たちが行くところがあり、それが私たちが働いている場所です。

16 そして、あなたは、兄弟たちと一緒にフィールドで15年間、アイデアの違いで小さなことが起こるはずだということに気づきます。ここで私たちは今朝ここに男性ができる限り調和して座っていると思います。しかし、ここに少し座って話し始めましょう。あなたが最初に知っていることは、誰かが何かを言うことでしょう。他の人は彼に少し同意しないかもしれませんが。それに耐え、それでも兄弟のように感じるには、本物の男性、本物のクリスチャンが必要です。

あなたはそれをあなたの心の中に持っていなければなりません。あなたはただ...あなたはそれによって欺くことはできません。あなたがそうだとってもそうではない場合、それが障害となります。あなたはそれできれいで明確でなければなりませんね。そして、私たちは違うでしょう...たとえば、もし...特定の人を連れて...兄弟がどこかに出ていて、特定のクラスの人々の中に入るなら...

17 今朝、ある兄弟が私に証言していました。彼は小さな男の子の時にその省に呼ばれました。そして彼は倒れたと彼は言った。そして彼は言いました...しかしそれから彼はかつてないほど多くの説教の呼びかけで戻ってきました。あなたはそれが何であったかを見て、彼がクリスチャンになったとき、彼は間違った環境に入りました、そしてその環境が彼に影響を与えました、見てください。そして、あなたはそのような環境を持ち続け、それがあなたに影響を与えます。

私が言っていることをあなたが行間を読んでいることを願っています、見てください。それはその環境であなたに影響を与えます。そして、あなたが最初に知っていることは、あなたはその環境の一部になるということです。あなたはそれに入る。そして、ちょうど良いきれいな人のように、それはきれいで道徳的であり、彼はそうでない多くの人々と付き合い始めます。ほら、あなたはその霊を取り入れています。

すべてはある霊によって支配されています。国家は霊によって支配されています。私がさまざまな国に行って、彼らがどのように行動し、行動するかを見ると、それがその国の霊であることがわかります。

18 私は市場に行きました(すみません、姉妹)、先日妻と一緒に市場に行きました、そしてそれは何か奇妙なことだと思いました—私たちはスカートをはいている女性を見ました。彼らはほとんどすべて裸で、小さなショーツをつけています。そして彼女は言いました...そして私はそこで彼らの多くが聖歌隊で歌っているのを知っていました、そしてあなたは大丈夫です、あなたは知っています、街の有名人。

そして、私の妻はこれらの昔ながらの女の子の一人です、あなたは知っています。そして彼女は「なぜ彼らはそれをするのだろうか」と言いました。

私は言いました「ハニーそれは霊ですよ、分かりますね それは彼らに乗ります、見てください。それは霊です。彼らの女性は意味しません...彼らは彼らが何をしているのか理解していません、見てください。彼らはそれを意味するものではありませんが、それは彼らに乗る霊です。あなたが最初に知っていることは、彼らはほんの少し始まり、それからもう少し、そして罪はとても微妙です(私は何と言いますか?)、はい、微妙です—とても微妙です。入って来て、とても美しく、そしてとても繊細なので、それがあなたを連れて行く方法です。」

19 まあ、私は多くの場合、良い、健全な思考の男性が組織に入ってくると思います、そしてあなたは時々あなたがそこにある種の場所を得るようになると思います...「私たちはグループです」ね。そして、それは実際には兄弟愛ではありません。彼らの間にはただ霊が入っているだけで、次の兄弟のために十分な余地がありませんね。そうだと思います。そして、私はそれを見つけます....

...すべてそして私たちはそれが良いことを知っています。ですから、私はここにいます、私の兄弟たち、私たちの素敵な救い主、イエス・キリスト、神の御子のために私ができるすべてのことをするためにあなた方

全員と私の網で売り込みます。私には何もありません...私は説教者ではありません。ただ説教者と言うだけです。あなた方のように、学ばれてそれに呼ばれた人たちのように。私は神がくれた小さな賜物を持っています、そしてそれはちょうどギアに入るようなものです。私はそこに身を置くことができません。

20 私は今朝ここでベーコンと呼ばれる兄弟に会いました、それは...だったと思います。あるいは、ベーコン、あそこの[不明瞭な言葉]でそうだったと思います。彼は何年も前、私が集会に参加していたときにここにいたと言った。その時、それは誰かに私の手を置くというほんの小さな現象でした、そしてそれがそれが何であるかを知っていたでしょう。それから、あなたは覚えています、私は彼がそれが起こるだろうと私に言ったと私は彼らの心のまさに秘密を知っているとあなたに言いました。今、あなた方は集会を見えていますね。今それは本当です。

しかし、それは何ですか？ 私が何かを欠いている場合、神は、おそらく私が人々を愛していることを知っていて、神は私に働くために何か他のものを与えてくれます。そして、私は望んでいません...私はキリストの全身のためにそれを作りたいのです、皆さん、ほら、私が主イエスに仕えるために私ができるすべての人に影響を与えようとするのです。一部の人々には奇妙かもしれませんが、私は彼らに座って聖書的にそれを見るように勧めようとしています。それが聖書になかったなら、それを信じないでください。いいえ。

21 旧約聖書では、彼らはそれが真実であるかどうかを知る方法を持っていました。預言者が預言した場合、夢想家が夢を見た場合、彼らは彼をウリム・タンミムの前に連れて行き、それから...それがアロンの胸当てです。そして、それがどれほどリアルに聞こえたとしても、超自然的な光がそのウリム・タンミムと一緒に点滅しなかった場合、彼らはそれを信じませんでした。なぜなら、それは超自然的でなければならなかったからです。そして、ウリム・タンミムがそれを証明しなかった場合、夢がどれほど現実的に聞こえたとしても、あるいは預言者が何を言ったとしても、それは間違っていました。

さて、それはレビの神権にありました。そして、その神権は廃止され、そのウリム・タンミムを奪いますが、神はまだウリム・タンミムを持っています。それが彼の言葉です。誰かがどのように聞こえても(いい音がするか、それがプログラムであるほど素晴らしい音であるかどうか)、私にとっては、そのウリム・タンミムでフラッシュする必要があります。それはその言葉でなければならない、そうでなければそうではない...

22 ほら、神は物事を行うことができます、そして私たちはあらゆる種類のことが起こっています、そして間違いなく、敬虔な人、善人。しかし、私たちはさまざまなもの、感覚、血、油、そしてすべてが好きです。彼らは大丈夫かもしれません。ほら、神はそれをすることができます。私は彼がそれをすることができないとは言いません。彼はやりたいことができる。彼は神です。そして、私は彼に何をすべきかを告げるビジネスを持っていません。彼はやりたいことをします。しかし、私にとっては、それを聖書にしましょう。それから私はそれが正しいことを知っています、見てください。そこにある聖書にそれを点滅させましょう。それならそれで大丈夫です、なぜなら彼がこの後ろに立つことを私は知っているからです。私は他のことを知りません。しかし...私ができる限り最善の方法でそれを維持しようとしています。

23 そして、私は自分の会議を決して大きくさせませんでした。そこでは、私たちの貴重な兄弟、オーラル・ロバーツ兄弟のような立派な男性のように...を割り当てなければならない可能性があります。オーラルと私が最初に会ったとき、彼は少しぼろぼろのテントを持っていました、そして私はカンザス州カンザスシティの片側にいて、彼はミズーリ州カンザスシティにいました。写真を一緒に立っていました。彼は言った、「あなたは神が私に答えてくれると思いますか...?」

さて、人がいました一賢くて、知性があり、神の偉大な人で、誠実です。私は「ロバーツ兄弟(ただの若い牧師)」と言いました。「神は誠実な人の祈りに答えてくださるでしょう。」と私は言いました。ここに彼は行きます。

先日...そんな大切な兄弟。私はミーティングをしました、ビジネスマン、タルサ。それから私は講堂でミーティングをしました、そしてオーラルが入りました。彼の足を傷つけていたので、彼は私をプラットホームから呼びました。私は行って彼のために祈りました。「あなたは私の建物を見たことがありますか?」と言いました。

私は「いいえ、ロバーツ兄弟、私はしていません」と言いました。

彼は言った、「まあ、あなたはそれを見てもみませんか?」

24 それで翌日、彼がそこにいないように私はすり抜けました。あなたが知っている、私はしたくない...その

ような大きな男、私は彼の時間が貴重であることを知っています。だから私は行きました。彼の家に座った。自分の家にいたら、これ以上良い扱いを受けることはできなかったでしょう。オーラルロバーツ、そのようなねりの人。

トミー・オズボーン、ああ、何と！彼らは靴の革をこれ以上着ないだけです。それだけです。彼はただ...彼は貴重な少年です。私は彼のところに行きました。そして、ああ！そのようないい人たち。そして、彼ら全員が主張するように、私が最初にフィールドで始めたとき彼らはそれを見て、それが彼らを動かした理由でした。

私はその時行きました...フィッシャー兄弟、私は南アフリカで彼のグループと一緒にいました。彼はオーラルの建物を通して私を案内してくれました。私は見ました。そんな巨大な場所！美しい。一度も見たことがない方は、ぜひご覧ください。ああ、あなたは世界のどこでもそのようなものを見たことがありません。

私はトミー・オズボーン兄弟のところに行ったばかりで、彼の素晴らしい場所、つまり何百台ものIBMマシンが座って走っているのを見ました。人間の手は文字にまったく触れません。そのように走り抜けるだけです。何と！お金は荷物から来て、コンベヤーに捨てられて、降りてきます。「ああ、何と！」と思いました。ほら、彼はそれを持っている必要があります。聞いてください、それは素晴らしい仕事です。

25 そして、私は外側に立っていました。私は思いました。「神様、私はどれほど感謝していますか。ここのこの建物を見てください—約250万ドルだと思います—ペンテコステ派の少年1人の功績だと思います。」神ができること、ほら、そこの掘り出し物から出てきた小さなオーキー。神に何ができるのか！ただ見せに行きます。そして、私はトミーを見ました...トミーオズボーン。

オーラルの庭に立っていて、たくさんの人がいて、外で待っていました。警官が私を案内してくれて、車の中でどこに行けるかを教えてくれました。そしてフィッシャー兄弟は周りを回って、迎えに来て、私を後ろに連れて行ってくれました。そして、私はそこに立って、私の後ろに手を置いて、その大きな建物を見て、どれほど美しいか、そこにある鏡を見て、彼らの手の届くところを見ていました。そして私は、「まあ、わかった……」と言いました。

何かが私に「まあ、あなたはどうですか？」と言いました。私は思った...そして兄弟たちは私の小さなミニストーリーが彼らをフィールドに置くのを助けたと言った。ほら、彼らの一人一人が座ってそれを教えてくれます。

26 そして、私は「まあ、多分多分……私がそこにいたら、なぜ私はそのようなものを持っていなかったのですか？」と思いました。私は、「彼らが私の場所に来るのはきっと嫌いだろう。トレーラーの端に座っている小さなタイプライターが一人いる。誰かに来てくれるように頼んで、手紙を出すのを手伝ってください。」

私は考えました。「まあ、なるほど、神は私を信頼できなかったのかもしれませんがね。たぶん、私がそのようになったなら、まあ、私は自分自身ではなかったかもしれませんが。」そして、「でも、神様がそのように信頼できる人を見つけることができ、とても感謝しています」と思いました。

私はあなたに何も言わせたくありません...私はこれに何の違ひもありませんが、私がそこに立っている間、私は泣きました。そして私は思いました。「まあ、父は私が教育を受けていないことを知っていました。彼らの男の子、なんて素敵で、貴重なのでしょう。」私は振り向いて、車が来るのを待って歩き始めました。私はそこに立って、その大きな大きな建物を見ました。私が今まで声を聞いたのと同じくらい明白に、それは「私はあなたの部分です」と言いました。

「大丈夫」と思いました。

「私はあなたの分です。」

私は言いました「主よありがとう それから、私が少しでも持っているものは、あなたが私に与えてくれた部分を神の国に置くためにできる限りのことをします。」

27 今、それは私が少しとどまろうとした方法です。私は何も持っていません。私たちはいくつかの本を手に入れましたが、それらは私のものではありません。彼らはゴードン・リンゼイ兄弟のもので、私たちはそれらを購入するだけです...私たちができる40%...そして私は彼らがこれらの本を持って西海岸にやってくるので、家に帰るために男性にお金を与えなければなりません。そして、それらの多くは台無しになりました。それらを人々に与えてください、誰もがそれらを望んでいて、彼らはお金を持っていません、なぜ、彼らはとに

かくそれらを持つことができます、見てください。

だから、私はお金を避けようと思いました。私は自分の人生で献金を受け取ったことはありません。そして、「何か大きなものを後援しなければならないとしたらどうしたらいいのか」と思いました。できませんでした。私はそれをすることができませんでした。それだけです。ですから、偉大で無限の神はそれを知っていました。

28 ですから、彼が私に与えてくれたものはほとんどありません。私はそれをあなた方の兄弟たちと分かち合おうとしています。ほら、あなたは教会です。そして、私たち全員がただ一つにとどまり、見て、兄弟として一緒にとどまりますように。そして、私たちが持っているものをお互いに共有しましょう。そうすれば、私たちは素晴らしい戦いをし、お互いではなく罪と戦っています。私たちがお互いに戦うつもりなら、サタンは腰を下ろして、ただそれを戦わせることができます。しかし、私たちの...私たちが得たすべてのものを王国に向けて、お互いに肩を並べ、上に移動し始め、そこで働きましょう。私たちがそれほど長くなったとは思わないからです。

私たちは道の終わりにいると思います。たぶん私が老人になっているからだと思います。しかし、いいえ、そうではありません。私はいつもそう思っていたからです。私たちは道の終わりにいると信じています。そして、祈り、助け、そして支えましょう。

29 今そこに...ロバーツ兄弟と彼らは、彼らは得ました...ほら、今、私がロバーツ兄弟に対して何かを言っているとあなたに思わせたくないのです。彼は私が今まで出会った中で最高の男性の一人であり、トミー・オズボーン、多くの...そしてトミー・ヒックス...そしてそれらの兄弟は素晴らしい兄弟です。私が言おうとしていることは、分かりますね。

今、ロバーツ兄弟は大学教育を受けていると思います。彼は頭がいい。そして、神はその人をそのような方法で祝福しました、彼は彼の周りのすべてを見るようにしています...私たちすべての人々、もし私たちが...神は私たちに私たちの部分を割り当て、彼にその部分を割り当てましたが、すべての部品が1つの部品を構成します。それは神の国に行きますね。私たちは一緒になりたいです。さて、私がロバーツ兄弟から自分自身を切り離そうとすると、それは私が話していたのと同じことをしているでしょう:ある組織が他の組織から自分自身を切り離しているのです。一つの大きなグループになりましょう、ほら、ただ一つの大きなグループです。

30 クリスマスのビジネスマンと話して、私は彼らと一緒にいました。彼らは私にとって一種のオアシスでした。そしてそれは...彼らに後援させることで、教会のビジネスマンが来るからです。そしてもちろん、そのようなことは、会衆の前で失望したために、牧師がほとんどそれをしなければならないように見えます。しかし、私は少し前にこのビジネスマンに言いました、「兄弟、私は...兄弟が言ったように、私は何からでもパンチを引くほど偽善者ではありませんでした。もしそうなら、そうです。私がそれを言うなら、つらい気持ちではなく、愛を込めて言います。

もしあなたの小さな男の子、または小さな子供が通りに座っていて、「後輩、あなたが入らなければ怪我をするかもしれない」と言うなら、それは愛ではありません。本当の愛がそこに出て行き、彼を捕まえて揺さぶり、そして彼をその通りから離れさせます、ほら。それは本当の愛です。ほら、それが兄弟たちです。私はそれを何の意味もありません...今、あなたはそれを覚えておいてください、見てください。さて、ジュニアを撫でないでくださいね。私たちはジュニアに話し、彼を列に並べさせなければなりませんでした。

31 さて、兄弟愛の愛、一緒に交わり、一緒に働くこと。そしてちょうど...労働協約などのように、それは私たちが神の国でやろうとしていることです。今、私たちが生きているこの素晴らしい時間に、私たちは終わりの時にいると思います...(私はここにどれくらいの時間がかかったかわかりません。ちょうど約15分ですか?) 私たちはのために働いています人生。私たちは人生のために奮闘しています。そして、私たちは...そしてこの人生の闘いの中で、私たちは違うことに気づきますが、私たちは同じです。私の指は私の耳ではなく、私の耳は私の目ではないことがわかりました。しかし、私は彼らが仕事を成し遂げるために協力しなければならないことを知りました。

そして、それが私たちがしなければならない方法です。私たちは仕事を成し遂げるために一緒に仕事をしなければならないませんでした、そしてそれが私がここにいる理由です、仕事を成し遂げようとしています。その仕事をしないでください。できません。私はあなたの兄弟たちと一緒に仕事を成し遂げるためにここにいます。私はその可能性を考えています...そして、今ここで何かが起こり、あなたのすべての教会にリバイバル

を送る可能性があり、そしておそらくそれはそれを行うことができるのです。

32 さて、私が少ししなければならないことは、あなた方の兄弟たちと一緒にそれを置き、私たちの犠牲と共通の根拠を持って、神の偉大な黄金の祭壇の上に置きます、イエス・キリスト、ご覧ください。そこで私たちは働いています。私はできる限りのこと、そして私ができることなら何でも一緒に仕事をするつもりです。きっとやるでしょう。私はあなたと正しく働くためにできる限りのことをし、神の御国のためにできる限りのことをします。そして、最後に、私たちは皆、彼が「よくやった、私の善良で忠実な僕たち」と言うのを聞きたいのです。

ここでのこの会議は、あと5日で歴史になることを覚えておいてください。そして、それはいつかまた私たちに会うでしょう。それでは、それを良くするためにできる限りのことをしましょう。

33 ちょっとだけでよければ、ここで一言か二言言いたい気がします。彼の言葉を一度引用したいのですが…多分少しだけ…テキストのようにそして、私は本当に近くで見ます。聖ヨハネ5:24を見てみましょう。あなたがそれについて考えたいのなら、それは私のお気に入りのテキストの1つで、一握りと二十個の卵ですね。5:24:「わたしの言葉を聞き、わたしを遣わした者を信じる者は、永遠の命を持っている」を参照してください。人生。なんて言葉だ! 人生。

私たちは何をしていますか? それが私たちが保持しようとしているもの、つまり人生です。それが私たちが見つけようとしているもの、つまり人生です。それはそこにある最大のもの、つまり人生です。

34 ここで少し前に、私は家にやってくる小さな走りで秘書と一緒に座っていました。そして、私たちは化石の古い部分を拾いました…そこにいました。彼は私に言った、「それは何歳ですか?」

私は言いました、「ああ、おそらく年代学者はそれが…であると言うでしょう、あるいは考古学者はそれが約数百万年前であると言うでしょう。」

「それに人間の寿命はどれほど短いのか」と言いました。

私は「いや、いや、いや」と言いました。私は「それがなくなっても、私はまだ生きている」と言いました。私は永遠の命を得ました、ほら、それゆえに…。

そして、私たちが周りを見回すと、兄弟たち、私たちが見るところはどこでも生命であることに気付くことができますと思います。人生。ここを見渡すと、オレンジの木が見えるかもしれません。それは独自の方法で人生を表現しています。これがヤシの木です。それは人生を表現しています。これが松の木です。それは人生を表現しています。赤い花があります。それは人生を表現しています。青い方がそのそばに立って、命を表現しています。私たちの組織を見てくださいね ほら、一人一人が命を表現しています。

35 小さな花に気づきました。小さな花の意味を考えてみましょう。それはそこに美しく立ち、目的を果たしています—それをうまく役立てています。そして、今年の秋に霜が降りたとき、それだけです。老いも若きも、それは死にます。それは死です。その小さな花びらが落ち、小さな黒い種子がそこから落ちます。(神が私たちが苦勞していることに興味を持っているかどうか見てみましょう。)小さな黒い種がそこから落ち、しばらくするとそれは…。

奇妙に思われるかもしれませんが、神は葬式の行列ができるまで、その小さな人生にとっても興味を持っています。そうです。秋の雨が降り、大きな涙が空から落ち、その小さな種を埋めます。さて、それは本当ですか? 確かにそうです—それを地下に埋めます。冬の凍結が起こり、地下数インチで凍結します。小さな球根は乾き、凍り、消えました。花びらが落ちて消えてしまいました。葉がなくなった。小さな種子が凍り、破裂して開きます。パルプがなくなります。神が造られたそのかわいそうな小さな命! 終わりましたか? 決してそうではありません。ああ、いや。

36 ほら、太陽系は植物の生命、太陽、s-u-nを制御します。そして、その暖かい太陽が地球の後ろから動き、このあたりに戻るとすぐに、科学者が見つけることができない生命の芽がどこかにありますが、その小さな花は再び生きています。それはその目的を果たしました。それは人生なので、再び生きます。

さて、もし神が太陽系に彼に仕えた命を再びよみがえらせる方法を作ったとしたら、彼が永遠の命を持って来るときのS-o-nはどうでしょうか? そして、私たちには永遠の命があります。私たちはこれらの日のうちに再び上昇するでしょう。私たちの目的をうまく果たしましょう。私たちが何であれ、それを奉仕しましょう。神があなたを置かれた場所が何であれ、それに仕えましょう。なぜなら、S-o-nは、彼の翼に癒しをもたら

し、これらの日のいずれかで上昇するからです。その時、彼の復活の輝きと栄光の中で出てきたいと思います。私はあなた方一人一人と腕を組んで、彼が現れる前に歩きたいです。それまでは、私たちは木の小さな葉であることを忘れないでください。

37 私は狩りが好きです。私の顔が爆破されているのが見えると思います。私はいつもウェザービーマグナムが欲しかった。いくつかの貴重な...私は誰もさせませんでした...私はそれを買う余裕がありませんでした。彼らは非常に高価です。誰かが私に買ってくれたでしょう。今ここに座っている人が私に買ってくれたでしょう。靴を履いていない宣教師の友達ができたとき、彼にそれをさせる余裕はありませんでした。私はそれをすることができませんでした—それを考えることができません。

それが私が今朝誰かにこれらのパンケーキを与えようとした理由です。私は飢えが何であるかを知っています。私は彼らが向こうの人々が苦しんでいることを知っています。私が信じているのと同じことを信じている兄弟たちが困難な状況にあることを知っているとき、私は無駄なものを見ることはできません。

38 私は彼らにそれをさせることができませんでした。アートウィルソンは私に...ビリーポールにモデル7、またはモデル.70、.257ロバーツを与えます。私の男の子、ビリーは左利きです。彼は右のボルトを使うことができなかった。ウェザービー社を経営している私の友人は、「まあ、それをウェザービーに送って、彼らにそれを退屈させて、ウェザービーをそれから外してもらいましょう」と言いました。「それはあなたに約30ドルかかるでしょう。約10の費用がかかりました。」彼はそれをしました。

彼はそれを正しく退屈しませんでした。最初のショットは私の顔全体に吹き飛ばした—私を殺すように、そして...約6週間前でした。ただ...その場所がわかりますか？ その歯の上部をたたいて、そこを通り抜けて、私の顔の側面を切り落としました。そのうちの3人は、副鼻腔腺と骨にくっついて、すぐそこを回りました。そのうちの15人はそのように視界の後ろにまっすぐ入りました。ほぼ2つに視力をカットしました。ただ見せに行きます。

私はそれからメッセージを得ました。これらの「握手による回心」、それがそれでした。ほら、もしその銃がウェザービーマグナムとしてダイで発射されていたら、それは荷物を保持していたでしょう。しかし、それが改ざんされて、退屈させられようとしたので……。もちろん、どんな銃撃者も何が起こったのか知っています—こちら側に圧力をかけていましたね。それはそれを吹き飛ばしました。

39 それが、この「握手」宗教のいくつかでのやり方です。私は生まれ変わることを信じています。最初に戻って死に、そして作り直されます、見てください。そうしないと、道のどこかで爆発が起こるでしょう。圧力が来るとそれはあなたに爆破します。それでは、圧力を抑えましょう。

私はここでの集会で本を売っている友人のウッド氏とケンタッキー州にいました。彼はエホバの証人であり、彼と一緒にいるポリオの少年(今結婚している)によって回心し、足を彼の下に引き上げました。多分彼に証言させる機会を得るでしょう。彼は救われ、聖霊に満たされました。

40 彼の兄弟が来ます。彼の父親は読者(聖書の)でした。彼らは彼をすべての存在から解放しました。ある日、彼の兄が入ってきました。私は休暇中か休んで家にいて、彼は兄のところへ行きました。彼は言った、「銀行、何... [ここにあるのは?」「いったい何に巻き込まれたの?」と言いました。彼は「狂信の束!」と言いました。

彼は「彼らは狂信的ではない」と言った。彼は「ダビデの足を見てください」と言いました。

彼は言った、「ああ、ナンセンス!」「あなたのお父さんはあなたを育て、私たちを育て、子供たちから地獄の火を燃やす説教者を信じないようにしました。彼は言った、「あなたはそのようなことをするべきではありません。」彼は言いました、「あなたはどんなクワクワを聞いていますか?」

「彼は畑にいて、干し草を投げている」と言った。

私を呼んだ。私はミニスター以外のすべてのように見えたと思います。そして彼は言った、そこに座って、彼は言いました...私は彼と話していました。「どうしますか?」と言いました。とても寒くて無関心です。

41 それで幻が来て(ちょうどここに立ってから3、4回、ここでそれが成し遂げられました。)そして私は言いました、「あなたは...なぜあなたはあなたの妻を去ったのですか？ 彼らに二人の少年?」

彼はまるで彼の兄弟がそれについて私に言ったかのように川の土手に目を向けました。

私は「彼に目を向けないでください」と言いました。私は「彼は私にそれを決して言わなかった」と言いました。私は言いました「一晩前の夜はどうですか あなたの妻は金髪の女性です。あなたは赤褐色の髪の女性と一緒にいました。その男がドアをノックすると、あなたは窓に行きました。それはあなたが行かなかったのは良いことです、さもなければあなたは頭を撃たれてしまいます。その男は手にピストルを持っていました。」

そして彼は床に転がりました。彼はキリストに心を捧げ、救われました。今、彼の家族全員が同じ方法で救われました、彼らの一人一人が、聖霊で満たされているのを見てください(私たちは...)

42 それからダウン...私たちはケンタッキーでリス狩りをしていました。そして、私はリス狩りが好きです。リス狩りのスポーツだけです。私たちは彼らが食べるのが大好きです。私はアイショットのために50ヤードでライフルを訓練しました、ほら、ちょうど50ヤード。だから私たちは...狩りはとても...あなたが灰色のリスを狩ったことがあるなら...あなたは、オクラホマのどこにいますか。あなたはフーディーニが脱出アーティストであると話します、彼は脱出アーティストではありません、彼らの一人のほかに、彼がそのようにどれほど速く逃げることができるか。

だからそれは本当に乾燥していた。私たちは彼らに近づくことができなかったので、彼は言いました。「ここに場所があります。老人...もし私たちがそれが湿っているくぼみで追い詰めることができたなら...」あなたはくぼみが何であるか知っていますか? 私たちがくぼみと呼んでいるのは、丘が下る谷です。そして、あなたはこの場所を歩き、丘の両側を見ます。水が流れる場所は湿っています。

43 彼は言いました、「しかし、彼は不信心者であり、国内で最も荒い人の一人です。」そして彼は「ああ、彼はひどい」と言いました。彼は「彼はあなたが説教者であることを知っています」と言いました、「うーん」と彼は言いました。

私は「じゃあ、やってみよう」と言いました。

それで、私たちは尾根を通り、くぼみ、そしてすべてを越えて、フィールドに戻るまで降りました。そこには素敵な小さな家がありました。大きな古いフロップダウンの帽子をかぶった老人(2人はそこに座っています)が木の下にいます。「彼はそこにいる」と言った。

それで私は「あなたが話をします」と言いました。それで私たちは近くまで車で行きました。彼は出て行った。彼は彼に話しかけた。

「入って来い!」と言いました ケンタッキー州民、南部人がどのように言ったかご存知でしょう。「入って来い」と。

44 そこに少し座って、「私の名前はウッドです」と言いました。「私はバンクスウッドです。」と言いました。「狩りができるかな」と言った。「私の友人がここにいます」と言いました。「私たちはここで他の小川を探していました。」と言いました。「とても乾燥しているので、多分...と思った」と言った。

彼は言いました、「あなたは何の森ですか? あなたはジム・ウッズの男の子ですか?」

彼は「はい」と言いました。

彼は「ジム・ウッズはこの国で正直な人でした」と言いました。「彼または彼の人の誰でも、私はここで数百エーカーの土地を手に入れました。自分を助けてください。」

「ありがとうございます。」と言いました。「私の牧師[それを言うことを目的としていませんでしたね]、私の牧師が私と一緒にいっても大丈夫ですか?」と言いました。

彼は、「ウッズがどこへ行っても説教者を連れて行かなければならないほど低くなっているとは言わない」と言った。

「はい」と言いました。言った....

降りる時間だと思ったので、トラックから降りて歩き回りました。私は「どうしますか?」と言いました。

彼は言いました、「そしてあなたは説教者ですか?」

2週間も入浴していなかったのですが、リスの血と長いウイスカがありました。私は「はい」と言った。私は「私はそのようには見えないと思います」と言った。

45 彼は「まあ、その部分は大丈夫です」と言いました。しかし、「あなたが知っている、私は不信心者であることになっている」と言いました。

私は「自慢することはそれほど多くないですよ？」と言いました。

彼は「私はそうは思わない」と言った。彼は言った、「しかし、私が考えている唯一のことは……」

「主よ、もしあなたが私を助けてくれたなら、あなたは今それをしてください」と私は思いました。

彼は言った、「まあ、私があなたの仲間に対して得た唯一のことは、あなたは間違った木を吠えているだけです。」

誰かがそれが何を意味するのか知っていますか？ 横になっている犬、ご存知のように、一人はこの木に吠え、あらいくまは別の木にいます。

それで彼は「あなたは間違った木を吠えている」と言いました。彼は、「あなたは何かについて話している...そこには何もありません」と言った。

私は、「まあ、多分それは意見だと思いますね」と言いました。私は「犬はあなたが見ない何かを見ているかもしれない」と言いました。

彼は、「まあ、そもそもそこには何もありません」と言った。彼は「神のようなものは存在しない」と言いました。

私は「まあ、それを信じるアメリカ人の特権だ」と言いました。

46 それで、そこには古いリンゴの木が立っていて、それらの多くが地面に落ちていました。それは8月中旬頃に、黄色いジャケットは……黄色いジャケットが何であるか知っていますか？ 彼らはリンゴを吸っていました。だから私は言いました……主題をすぐに変えたほうがいいと思ったので、「リンゴを持っていてもよろしいですか？」と言いました。

彼は「ああ、全然」と言いました。「黄色いジャケットがそれらを食べている」と言いました。それで、私は降りて、それを手に入れて、汚れたオーバーオールにそれをこすりつけました。あなたがローマにいますとき、あなたはローマ人でなければなりません、あなたは知っています。それで私は「まあ……」と言いました。私はリンゴをかじって、そこに少し立っていました。

彼は言いました、「ええ、それはあなたの仲間に反対することです。あなたはいつも……」と言いました、「それはただのことです、あなたはただ人々を離れて、慈善団体から生きているのです。」

私は言いました「ええそれは本当です 私たちは人々の施し、自由意志によって生きています。彼らは来る必要はありませんね。彼らはそれを信じ、支持しています。」

47 彼は「まあ」と言いました、「そのようなことはありません。私は何かがあるようなことを宣言するのを見たことはありません。私は自分の目が見える限り、ふっくらと見上げることができます。神は見えません。他には何も見えません。」(とても盲目です、あなたは知っています。)そして、彼は言いました、「私は何も見えません。神を見ないでください。私はここに76年間いますが、まだ何も見ていません。」

彼は言いました、「私は一つのことを言います。約2年前に、メソジストのキャンプ場でアクトンにやってきた説教者が1人いました。」「彼はインディアナ州の外からの仲間でした。」と言いました。彼は、「おばあさんのキャスホーン(私は彼女の名前だっと思えます)」と言い、「この丘の上、真上に住んでいます」と言いました。そして、「彼女は胃に癌がありました」と言いました。

そして、「私と私の妻は毎朝そこに行っていました。」と言いました。「これ以上彼女をベッドパンに置くことはできませんでした[この姉妹、すみません]」と言いましたが、「ドローシートを使用する必要がありました[下のゴム]、ドローシートを引っ張るだけです。」「私と私の妻は毎朝そして毎晩そこに行き、彼女のベッドを変えて彼女を修理しました。彼女と彼女の夫はそこに住んでいます。」

そして、「医者は彼女に会っていました。」と言いました。そして、「彼女はこの癌を約1年間医者にして

いた」と言いました。そして、「彼女は、彼らがもう戻ってこなくなるまで、その場所にたどり着きました。ただ、ドープで生き続けていたのです。」と言いました。

48 「インディアナから来たこの説教者は、これまでここに来たことはありませんでした」と言い、「彼らはそこで集会を開いていました」と言いました。「これは... 1500人近くだったと思います...」と言いました。アクトンはほんの少し小さいです。人口は約20人だと思います。そこにキャンプ場。

それで、彼は「説教するとき、そこで二日目の夜」と言いました、「彼は聴衆を振り返り、この女性の妹に言いました...名前でも彼女に電話し、彼女が家を出るときに彼女が連れて行ったと言いました隅に小さな青い人物が描かれた小さな白いハンカチ。彼女はそれを手帳に入れていました。彼女にはあちこちという名前の姉妹がいて、癌で死にかけていました。このハンカチを彼女の上に置いて来れば、彼女は元気になるでしょう。」

そして、「その夜の10時ごろ、彼らは丘の上に救いの軍隊を持っていると思いました。私は人生でそれほど多くの騒音を聞いたことはありません。おばあさんが亡くなったと思いました。だから...」

49 ケンタッキー、彼らは7時に寝ます一鶏と一緒に。それで...だから彼らは言いました...そしてそれは大きなベンでした、あなたが知っているように、それはそのハンカチを取り、それを置くためにその女性と一緒にそこに行きました。そして、とにかく、彼は豹のようにしゃがみます。それで彼はそこにいました。

そして、「翌朝、私たちは彼らを助けるために何ができるかを見つけるために上がりました。」と言いました。「コースに戻ると、彼らは朝まで事業者を受け入れることができませんでした。「妻と私、私たちに何ができるかを見に行つた」と言った。そして、「私たちがそこに着いたとき、その女性は揚げリンゴのパイを食べ、テーブルに座って、コーヒーを飲んでいました。彼女と彼女の夫です。」と言いました。

揚げリンゴパイが何であるか知っていますか？ 半月？ ほら、あなたはパンケーキのように生地を引き出して、入れます...あなたは革のブリッチが何であるか知っていますか？ 革のブリッチはどういう意味ですか？ ほら、ほら、太陽がそれらを乾かすためにそれらを吊るす豆。同じように家の上でリンゴを乾かします。

次に、これらのリンゴを取り、これに入れます...、そのように裏返し、揚げて、彼らが半月と呼ぶものを作ります。それらの上にソルガムモラセス(糖蜜)を置いてください、本当に良いです。確かにそうです！

50 「彼女は揚げたリンゴパイ、彼女と彼女の夫を食べていました。」と言いました。そして、「彼女は自分の仕事をするだけでなく、それ以来、隣人の仕事をしています。あの男がどうやってそれを知っているのか知れたかったのです。」

そして、バンクスは私を見ていました。私はそのように彼に首を横に振った。

そして彼は「知りたいのですが……」と言いました。

私は「それが真実だという意味ではありません」と言いました。私は「そんなことは信じられないだろう」と言いました。

「まあ」と言いました、「私はあなたを向こう側に連れて行き、あなたにそれを証明することができます。」ほら、今、彼は私に説教していました。彼は言った、「私はあなたをそこに連れて行き、あなたにそれを証明することができます。」

私は「ああ、あなたの言葉を聞きます」と言いました。私は「あなたの言葉を聞きます」と言いました。

彼は言いました、「まあ、彼女はすぐそこにいます。信じられない場合は、そこに行って聞いてください。そして、このあたりの隣人に聞いてください。それらの誰もがそれについてあなたに話すことができます。」

「ああ」と私は言いました、「私は...そうですか？」

彼は「確かに正しい」と言った。

51 私は「ええと。今、あなたは私に説教しました」と分かります。私は少しそこに立って言いました、「あなたは説教者に何について会いたかったのですか？ 彼の名前は何かでしたか？」

「わかりません」と言いました。「もし私が彼に会ったら、それについて彼に尋ねるつもりです。」と言いま

した。

私は言いました「はい 私はあなたがそうすることを望みます。」

そして彼は「まあ」と言いました、「あなたは知っています」と彼は言いました、「私が理解できないのは、彼が向こうに立つことができたとき、そしてこの国にこれまで一度も行ったことがないときに彼が話していたことでした。女性はそのハンカチを手に入れました。そしてそこに送って、それをその女性の上に置いて、何が起こるかを正確に彼女に話しました。そしてそれは2年前のことで、彼女は完全に元気です。彼女は大丈夫です。」

「彼女はそこにいます。医者は彼女がいつでも死ぬだろうと言いました。彼らは彼女を癌で開き、ちょうど彼女を縫い戻しました。それについては何もできませんでした。保留になりました。」それで、「彼女を包んだ」と言いました。そして、「彼女はそこにいます」と言いました。

私は「まあ、それは確かに奇妙ですね」と言いました。

そして彼は「もちろんです」と言いました。

52 私は「何と、それはいいリンゴだ」と言いました。

そして彼は、「ええ、それは良いものです」と言いました。「それは……」と言いました。

私は「あの木は何年経っているのですか?」と言いました。

彼は「若い人(私の50年、あなたが知っている)」と言いました、「若い人」と彼は言いました、「私はその丘の上に向こうに住んでいました。私と私のパパとママ、そして私たち全員がそこに住んでいました。そこには古い暖炉...古い丸太小屋がありました。」「パパがこの家を建てたので、私たちはここに引っ越しました。」と言いました。そして、「彼が死んだとき、私はそれを引き継ぎました」と言い、「私はここで家族を育てました」と言いました。「私は76歳です。」と言いました。

彼は「私は約45年前にその木をそこに植えました」と言いました。そして、「彼女は生産を始めて以来、私のために良いリンゴを生産してくれました。」と言いました。

私は「素晴らしい」と言いました。私は「葉がすべてその木から落ちているのに気づきました」と言いました。ほら、私の年老いたママは私に「牛に十分なロープを与えるだけで、彼女は首を吊るす」と言っていました。だからただ...あなたの馬をロープの端に結びつけてください。しばらくして誰かが彼の足を乗り越えるのを見てください。それが方法です、何もなしで...私はただ神に頼らなければなりません、ただ神が導く道を行くという単純さだけです、わかりますね。彼らを賢い人から切り離す私自身の精神的な力がないので、あなたは彼にそれをさせなければならないのです。

53 それで彼は「まあ」と言いました、「ええ、葉は去っていきます」。

私は「今、それは奇妙なことですよ」と言いました。私は「ここにいます、ここは8月中旬です、私たちは... [まだ暑かったです、ちょうどその時、日陰で約90度でした。]」と言いました、そして私は言いました。霜など何でも、それでも葉は木から落ちています。」私は「それは何なのかしら」と言いました。

「ああ」と彼は言いました、「命が彼らを去りました。」

「ああ」と私は言いました。「なるほど。命が彼らを去りました。命どこに行きましたか?」

彼は、「根っこ、樹液」と言いました。

「ああ」と私は言いました、「そうですか?」そして彼は言いました...私は「それは何のためにそれをするのですか?」と言いました。私は言いました、「冬の間、その木に命がないということですか?」

彼は言いました「いいえ それはそれを殺すでしょう。もしそれがそこにあつたら、生命の胚芽は木の中で殺されるでしょう。」「人生は根っこに落ちる」と言いました。

「うーん」と私は言いました。「来年の春に戻ってきて、リンゴをもう一束持ってきてください。」

「ええ。」

54 私は「質問に答えてほしい」と言いました。私は言いました。「教えてください...その木には知性はありませんが、その木に次のように伝える超知性があります。'冬が来て、そこから離れて、根に戻って隠れます土の下に。来年の春、あなたはこの男にリンゴをあげなければなりません。'そして、それが彼を気にしないなら、それは死にます。それが彼を気にするなら、それは生き続けます—その知性。この知性を気にする必要があります。」

彼は「まあ、それはただの自然だ」と言った。

55 私は「自然とは何ですか?」と言いました。私は言いました、「あなたは地理的に、そして地球の揺れを意味するのですか?」私は言いました。「8月中旬にポストに水の入ったバケツを置いてください。それが柱の一番下まで下がって、春に戻ってきて、別のバケツの水を持っているのを見てください。」

彼は「それはしません」と言いました。

私は言いました、「それなら、これを制御するインテリジェンス(知性)が必要です」を参照してください。

「そのように考えたことはありませんが、あなたは正しいと思います。」と言いました。

私は言いました。「では、その木の樹液が根元に落ちて隠れ、再び戻ってきて、誰かに利益をもたらす何かをもたらすように指示するインテリジェンス(知性)を見つけたら、同じことを伝えます。インテリジェンス(知性)は、その女性が癌で死にかけているあそこに横たわっていたと私に言ったものでした。もし彼女が神の戒めに従えば、彼女は癒されるでしょう。」

彼は言った、「あなたはその説教者ではないのですか?」

私は「私は」と言いました。

「あなたの名前は?」

私は「ブラナム」と言いました。

彼は言いました、「それはその人です。証明できますか?」

私は「まあ、できると思います」と言いました。そして、そのリンゴの木の下で、その単純な小さなこと、命、私は彼をキリストに導きました。

56 去年、私は再びそこにいました。私は木まで歩いて行きました、そして、女性がその後ろに座っていました、彼の妻はリンゴの皮をむいていました。私は彼に頼んだ。彼は続いていた。

彼女は言いました。ブラナム、神はあなたと共におられます。」彼女は言いました。「毎年私たちは試しました。私たちはすべてをしました。しかし、このリンゴの木についてのその単純な小さな話は、彼をキリストに連れて来ました。」

ですから、人生はとてもシンプルです。しかし、それでも、それはとても素晴らしいです。いつか復活するように、得たものだけを入れましょう。そして、私たちだけでなく、私たちがその日に来たときに、私たちと一緒に誰かを連れてきましょう。大丈夫ですか? 祈ってもいいですか?

57 天のお父様、あなたは人生をとてシンプルに、方法をとてシンプルに、とても明白にしてくれました。私たち自身の、私たちが考えていること、知性をもたらすような方法でそれをひねろうとすることは私たちから遠く離れているようにしましょう。神が私たちの前に置かれた単純さを取り、そこでキリストのために魂を勝ち取るためにそれを使用しましょう。

父なる神様、私たちは今ここにいます。私たちはここでこの会議を開いています。このあたりには罪人がいます。彼らが誰なのか、どこにいるのかわかりません。ここで私は今朝、男性と女性と一緒に座っています。これからの絶え間ない時代を通して、私たちは一緒に暮らすことになると思っています。

今朝ここに座って、テーブルを次々と見下ろしていると、私は線に沿って見下ろし、私が罪人だったときにおそらく野原にいて説教していた白髪の男たちを見えています。私たちはお互いに握手しました。私たちは朝食の周りで交わりました。

58 別の朝食で会うことは決してないかもしれませんが、確かなことが1つあります。それは、いつか夕食時

に会うことです。それは結婚式の夕食です。その素晴らしいテーブルが空を横切って伸び、星から星へと届きます。私たちはテーブルを次々と見えています。私たちが考えるように、頬から小さな涙が落ちるはずですが...お互いに握手するとき、「セイラムの出会いを覚えています。これがまあまあの兄弟です。彼がその時にやって来た人でした、これはここにいます。」

それから彼の美しさの王は彼の白いローブを着て出て行き、私たちの目からすべての涙を拭き取ります、「子供たち、泣かないでください。それはすべて終わりました。天地の創られる前からあなたのために用意された主の喜びに入りなさい。」

神様、私たちが行っているこの努力のために、多くの人をテーブルの周りに座らせましょう。主よ、今、私たちはできる限りのことをします。私たちはあなたが私たちを助けることを頼りにしています。私たちはあなたのもので。主よ、私たちはあなたの手の中にあります。あなたが適当と思うように私たちと一緒にやってください。

59 私たちはお互いに、そして今私たちと共におられる神の御子との交わりをあなたに感謝します。彼がとどまり、私たちが召しに忠実であり続け、私たちが出て行くことができるように。お金の力ではなく、地球の偉大なものの力で。しかし、謙遜の力、御霊の甘さと謙虚さの中で、神が私たちを神の息子と娘の像に形作り、他の人を神に勝つために。イエスの御名によって、私たちはこの祝福に神を敬うようお願いします。アーメン。

友よ、どうもありがとうございました。よろしければ、朝食の代金をお支払いします。今回は交わりがありました。喜んでやっています。[兄弟がブラナム兄弟に何かを言います。]まあ、私はそれを喜んでしますね。喜んでやります。私は確かにここにいて、あなたと一緒にいるのを楽しんでいます。そして今、私が今夜あなたに会うまで、私たちの兄弟である議長。



www.messagehub.info

説教の語り手

ウィリアム・マリオン・ブラナム

"...第七の御使が吹き鳴らすラッパの音がする時には、神がその僕、預言者たちにお告げになったとおり、神の奥義は成就される。" 黙示録 10:7